

回									
覧									

丘珠空港ニュース

第10号（平成23年1月4日）
発行：札幌市市民まちづくり局
総合交通計画部空港担当課
電話：211-2378

HAC 丘珠拠点で事業プラン案

◆平成23年6月から、1日12往復・24便運航

北海道は、11月27日の道議会でHACの事業プラン案を公表しました。これによると、新しいHACの経営体制への移行は今年度内とし、丘珠空港への路線集約については23年6月からとしています。現在北海道は、新たな経営体制移行へ向け、関係自治体・経済界と協議中です。

新しいHACの路線計画としては、丘珠路線を主要路線とし、函館便を1日6便（土日等は5便）、釧路便を同3便、女満別便を同3便の丘珠発着計12便（土日等は11便）を計画。

丘珠以外としては、函館-奥尻便と土日等のみ函館-旭川便が就航予定。また、現在運航している函館-釧路便については丘珠での経由便や乗

継運賃を検討しています。

また、現在新千歳-利尻便を運航しているANAが同路線からの撤退を検討していることから、今後の動向を踏まえ、早ければ23年10月からの丘珠-利尻便の運航も合わせて検討をしています。

この他、事業プラン案ではこれまでの累積損失約2億円を解消するため減資を行い、

事業プラン案に示された23年度HAC路線便数計画

()内は1日あたりの往復便数

4~5月※1	6~9月	10~3月
丘珠~函館(4) 丘珠~釧路(2)	丘珠~函館(6)※2 丘珠~釧路(3) 丘珠~女満別(3)	丘珠~函館(5)※2 丘珠~釧路(3) 丘珠~女満別(3)
千歳~釧路(2) 千歳~女満別(2)		
函館~釧路(1) 函館~旭川(1)	(函館~旭川)※2	(函館~旭川)※2
		丘珠~利尻(1) 函館~奥尻(1)
函館~奥尻(1)	函館~奥尻(1)	函館~奥尻(1)

※1 機材整備や利用動向により便数等が変更となる場合がある

※2 函館~旭川線は土日等1便の運航(丘珠~函館線を振替)

設備投資等のため2億5千万円程度の増資を検討しています。また、5年間の収支計画についても示しており、この中では平成24年度以降1億を超える黒字を見込んでいます。

出資については、札幌市を含む関係自治体・経済界を想定しており、このうち札幌市とは10月下旬に出資及び丘珠移転にかかる経費への補助を行うことで方向性を確認。その他の自治体・経済界との間で北海道の新体制に向けた調整が続いているところです。

エアポートアカデミー1期生卒業

◆好評につき次回開催も検討中

10月から全6回の日程で開催された「丘珠エアポートアカデミー」は、12月20日で全課程を修了し、卒業式が行われました。受講者は、この間航空業界の現状などの講義のほか、格納庫や自衛隊丘珠駐屯地の見学などの施設見学も行い、空港についての理解を深めました。

受講者からは「カリキュラムの内容も充実していて非常に勉強となった」など好評で

あり、主催した丘珠空港ビルでも今後2期生の募集を予定しています。

◆空港産直市・ロビーコンサートも月1回好評開催中

丘珠空港産直市も月1回継続中。今後については、1月16日(日)に中標津・網走の直送品の販売と、お正月らしく琴・尺八・ピアノによるロビーコンサートを、2月20日(日)には釧路・厚岸の直送品販売とフラダンスの演舞が予定されています。

また、小学生を対象とした第6回「お習字コンテスト」も募集中。1月末締め切りで、審査のうえ入賞作品等は3月上旬から4月中旬まで空港ビルに展示される予定です。

イベント等のお問い合わせ
札幌丘珠空港ビル(株)
TEL011-785-7871

市民フォーラムを開催しました

◆丘珠空港活用のアイデア盛りだくさん！

丘珠空港の魅力や利用促進について考える市民フォーラム「北海道が輝くために～もっと活用しよう！丘珠空港～」が11月27日に丘珠空港2階ロビーにて開催されました。丘珠空港の今後について、北海道がHACの路線を来年6月を目途に丘珠空港に集約する方針を示したことから、丘珠空港の活性化という課題はますます重要になってきています。

市民フォーラムには市民の方々や報道関係者など約170人が集まり、HAC便の離着陸を背に、北海道の魅力や丘珠空港の利用促進について講演がありました。講演後にはトークセッションが行われ、数多くの丘珠空港活性化の提案がなされました。

講演では、フォトグラファー・株式会社フォトバンクの清水武男代表取締役が、「北



熱心にトークセッションに聞き入る参加者の皆さん

◆市民の皆様からのアイデアシートも

会場では、参加していただいた市民の皆さんから丘珠空港活用のアイデアをシートに記入して頂きました。頂いたアイデアの中には、「北海道の素晴らしい景色を活かし、近郊市町村への遊覧飛行を格安料金で行ってみたいかどうか」「さまざまなツアーを企画・実施してみたいかどうか」「飛行機博物館や航空展を開催したらいい」など多くの提

案がありました。これら多くのアイデアを今後の丘珠空港の活用促進を考える上での参考にさせていただきます。みなさんの貴重なご意見ありがとうございました。

市民フォーラムの詳細は札幌市の丘珠空港ホームページ(<http://www.city.sapporo.jp/shimin/okadama/>)にも1月中に掲載予定です。

◆丘珠空港活用について熱く語るトークセッション

トークセッションでは、北海道商工会議所連合会の石井義康政策・企画部長が、「函館のイカを運び、朝イカ定食を丘珠空港で。」と、この場所ならではのアイデアで人を集めることを提案。株式会社ツーリズム・マーケティング研究所の篠崎宏主任研究員は、「活用促進のアイデアにはおもしろさを徹底的に追及して



トークセッションには、様々な分野の方に参加いただきました。

都市間の移動が比較的短くて済むメリットがある。今後は大規模空港ではできないことを考え、コンビニ・マーケティング的な視点で考えていくべき。」と、まちづくりの生活の拠点となるような空港を目指し、空港の利便性の向上のための提案をしました。

ほしい。面白さがないとうまく伝わらず、人は集まらない。」と人を集める上での重要な点を述べました。

また、株式会社コスモメディアの八木由起子編集長は、「近くて遠いのが丘珠空港。」とアクセスの課題を述べ、「飛行機があれば、グルメやトラベルでの重要な足となれる。」と雑誌関係者ならではの視点で提案しました。

編集後記

丘珠空港フォーラムでは、多くの方のご参加と沢山のアイデア・ご意見を頂きました。ありがとうございました。紙面では載せきれなかった分は、ホームページでも一部紹介させていただきます。今年もよろしく願いいたします。(担当：鈴木)



さっぽろ市
05-C00-10-1162
22-5-350